

事業者における児童発達支援自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ 東戸塚教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		学習と遊びのスペースを分けています。スケジュールなどはお子さまに合わせて絵や写真、文字などで視覚化しています。	今後も継続していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		コロナウイルス感染防止のため、お子さまの入れ替わりの時間には毎回室内を消毒しています。また、日々の清掃で清潔を保つ努力をしています。	今後も継続していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		日誌、議事録等を用いて日々情報の共有を行っています。	今後も継続していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		保護者向け評価表の集計結果をもとに、プログラムの見直しなど業務改善に繋げています。	今年度の評価表をもとに改善を行います。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ピコ東戸塚教室のホームページに公開しています。	今後も継続していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行っていません。	現在は、事業所・保護者様の二者評価です。今後必要に応じて第三者評価を検討して参ります。
	⑨	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修・社内研修を適宜実施しています。	今後も継続していきます。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		日々の活動報告、保護者様のご要望、客観的な分析をもとにモニタリング・個別支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用しています。	今後も継続していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		適切かつ具体的に支援計画を設定しています。	今後も継続していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援の方向性を紙面や口頭で確認し、支援計画に沿って教材を作成し支援しています。	支援計画更新時に全職員への周知をより徹底していきます。

適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		チームで意見を出し合っってプログラムを決めています。	今後も継続していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		お子さまの最近のご様子や保護者様のご要望等も踏まえ、一斉活動では工作やSSTなど毎週異なるプログラムを行っています。	今後も継続していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別活動と集団活動でのお子さまの様子を反映し作成しています。	今後も継続していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日担当を決め、全員で確認をしています。各自議事録なども見返し支援内容の確認をしています。	今後も継続していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援後に口頭で支援の振り返りをしつつ、詳細は議事録に記載し、いつでも確認・共有できるようにしています。	今後も継続していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援後に必ず活動記録を作成しています。その記録をもとに、次回以降の支援の内容を検討しています。	今後も継続していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一回を目安にモニタリングを行い、個別支援計画の再作成をしています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者、支援を担当する職員が参画することになっています。	今後も継続していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		新型コロナウイルスの関係もあり、十分な連携は取れませんでした。	必要に応じて、連絡・連携を取っていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		該当のご利用者様がいらっしゃいません。	医療職スタッフを配置していないため、ご利用の際は主治医、保護者様とご相談させていただきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		該当のご利用者様がいらっしゃいません。	医療職スタッフを配置していないため、ご利用の際は主治医、保護者様とご相談させていただきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者様を通じて、必要に応じて情報共有をしています。	今後も継続していきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		卒業児にモニタリング記録を作成しており、保護者様を通じて情報を共有することが可能になっています。	今後も継続していきます。

保護者との連携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会や見学会に参加し、日々の支援に繋げています。	今後も継続していきます。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在はありません。	ご意見を踏まえ検討します。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	参加ができませんでした。	今後は積極的に参加していきます。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご利用当日のご様子は毎回お迎え時に口頭でお伝えしたのち、オンラインシステムで記録を送り共有しています。必要に応じて随時面談も設けています。	今後も継続していきます。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	現在は行なっていません。	今後ご意見も踏まえ検討していきます。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご契約の際にご説明しています。また、教室にも掲示をしています。	今後も継続していきます。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		半年に一回を目安に計画を見直し、支援内容のご説明を保護者様に行い同意を得ています。	今後も継続していきます。
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時ご相談やご質問を受け付けており、必要な助言と支援を行っています。また、必要に応じて面談の場を設けています。	今後も継続していきます。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在は行なっていません。	今後ご意見も踏まえ検討していきます。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご相談や申入れに対しては迅速かつ適切に対応します。	今後も継続していきます。
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ブログ、毎月のおたよりにて活動の様子等を報告しています。	今後も継続していきます。
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報につきましては、鍵付きの棚で保管しています。又、教室内の全PCにはパスワードを設定しています。	今後も継続していきます。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さまへは特性に合わせた情報伝達手段を使用するようにしています。保護者様へお伝えする情報は紙面化を心掛けています。	今後も継続していきます。
㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在は行なっていません。	今後も継続していきます。	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	事業所内ではそれぞれのマニュアルを策定し職員間で共有しています。保護者様へは緊急時のお迎え場所などを契約時にお話ししています。	契約時以外での保護者様への周知方法は検討していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	5月と11月に避難訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○	アセスメントの際に確認をしています。	今後も継続していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	食事、おやつ等の提供はありません。	今後も継続していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	日々の日誌にヒヤリハットの欄を作成し、今後の対応方法も含め職員全体で共有するようにしています。	今後も継続していきます。
	④⑥	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	年に一度は全職員が研修を行っています。	今後も継続していきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援支援計画に記載しているか	○	安全にご利用いただけるよう、事業所内で対応を決定しています。契約時に「身体拘束に関する同意書」をもとにご説明をさせていただき、やむを得ず身体拘束を行わせていただく際のためご署名をいただいております。また、児童発達支援計画にも記載してあります。	今後も継続していきます。

○この「事業所向け児童発達支援自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け児童発達支援自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ東戸塚教室

保護者数（児童数）： 54（57） 回収数：36 割合：67%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	2		1	・十分良いと思います。	・引き続きお子さまが活動しやすい環境設定を行っていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	1		5	・配置数は十分と思うが専門性については分からない。 ・子ども1人に先生が1人付くので丁寧に見ていただけることがありがたい。 ・一人ひとりに付いてくださっているのが十分であるが、専門性に付いてはよく知りません。	職員は児童指導員、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士いずれかの資格を有しています。 定期的に研修を受講し、支援の質を高めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34			2	・プリント類はこちら、SSTはこちらと分かりやすい空間になっていると思います。	・引き続き、視覚表示等も行いながらお子さまにとって分かりやすい環境設定を行っていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	34			2	・とても綺麗です。 ・とても清潔で余計なものが目に入らないよう整備されていると思う。	・今後も整頓、清掃、消毒等を丁寧に行ない、清潔で心地よい空間を維持していきます。
適切な支援提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	35	1			・とても適切に分析していただいていると思います。 ・保護者の話もよく聞いてくださり作成されていると思います。	・保護者様のご要望も踏まえつつ、お子さまにとって最善の支援を提供できるよう計画を作成していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	33			3	・支援計画はちゃんと面談を行い、親の希望なども聞いてもらい、確認しながら作成してくださっている。	・お子さまと保護者様に必要な支援を選択し、具体的な支援内容を設定していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	36				・支援計画に沿った支援をした結果もフィードバックされている。	・引き続き支援計画に沿った支援を行っていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	36				・仕事がとてもありがたいです。家で飾っています。 ・おたよりにて色々な活動報告がなされている。	・色々なことを体験し成長を促せるようプログラムを提供していきます。 ・工作は季節感のある物や達成感を得られやすいものを今後も提供していきます。 ・おたよりで活動内容を事前に提示、活動の様子を月末のおたよりで報告していくことを続けます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要10	4	不必要17	5	・保育園に通園しているため。 ・ご時世の事もあるので、交流はなくて良いと思います。 ・その子どもによろしいと思います。 ・コロナ禍で難しいし特に必要なし。	・コロナ禍の状況やご意見等を踏まえ検討します。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	34	1		1	・項目に沿って丁寧に分かりやすく説明していただいています。	・具体的に、且つ分かりやすい言葉を用いながら丁寧に説明をしていくよう努めます。

⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	必要 18	9	不必要 3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・面談等で相談できているので特になくとも良い。 ・もう少しペアレントトレーニングを増やしてほしい。 ・ペアトレについて教えていただければありがたいです。 ・たまにで良いのでペアトレを試してみたい。 ・今はなかなか難しいと思いますが、あったらいいなと思います。 ・夫婦でのペアレントトレーニングがあると更にありがたい。 ・支援計画の際に教えていただいたりしている。コロナ禍で難しいと思うが、あれば参加したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニング等の開催につきましてはコロナ禍の状況を見つつ、場所、方法、内容等を検討していきます。 ・早急の開催は難しいことが予想されますので、面談等でアドバイスをできるように知識を深めていきます。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか	33	3			<ul style="list-style-type: none"> ・子育てを終えた世代の方のアドバイスは特に参考になると感じました。もっと大きな視点で子育てをしたいと感じます。 ・先生方から状況を聞いてくださったりしている。(最近の幼稚園での様子など)。 ・双方で伝え合っているのは面談の時くらいか少ないので頻度は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の面談時以外にも、フィードバックやお手紙等をお渡しする際に職員の方から保護者様にお子さまの近況をお聞きするよう心がけます。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・大変助けていただいている。 ・もうちょっと頻度があっても良い。 ・定期的な面談がもう少し頻度多くあると助かります。希望すれば面談ができるシステムはありがたいです。 ・半年に一回の面談で相談したりアドバイスをいただけるのは助かる。もっと気軽に相談できる機会があるとありがたい。 ・希望者に対しては行われている様子。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の面談時などに、ご相談事があるときはお気軽に面談の依頼をしていただいて大丈夫であることをお伝えしていきます。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 9	8	不必要 14	5	<ul style="list-style-type: none"> ・障害は個々で違うので保護者同士だと話が合わないこともある。 ・いつも会うママさんと仲良くなり情報交換できています。仲間という感じがして嬉しいです。 ・このコロナ禍では難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえつつ、今後検討していきます。
⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	34			2	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の困りごとを相談しやすくとても助かっています。 ・とても迅速丁寧に対応いただいている。 ・振替の相談や申し入れのLINEをすると、いつ空きがある、ないなどすぐ返信して下さるので助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEや面談等を使っていたきながら、今後もお家庭に寄り添った支援をしていきます。
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	3			<ul style="list-style-type: none"> ・手短かに外で立ち話になってしまうので、話を聞くだけになってしまいます。こちらからも最近の様子などを伝えられたらいいなと思います。 ・何かあればLINEですぐ連絡が取れるようになっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面でのフィードバックの際は時間を多く取れませんが、その中でも園やご家庭での様子もお聞きするよう努めます。 ・フィードバックやオンラインシステムによる情報伝達ではまかなえない部分は、LINEでのご相談や面談を設けるよう努めます。
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	34			2	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとに「びこだより」を発信して下さり細かく記載されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお便りやHPを通じて教室の情報を発信していきます。
⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	32			4	<ul style="list-style-type: none"> ・されているとは思いますが、内部の事は分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後個人情報の取り扱いには細心の注意を払い管理していきます。

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	36				・教室LINEにて説明がありました。	・今後も契約時にマニュアルの説明を実施、その都度LINE、お便り等で周知していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35			1	・活動内容の中で説明があったと思う。	・今後も5月と11月に全お子さまを対象に避難訓練を実施していきます。 ・災害発生時の対応方法、備品の確認を定期的に行っていきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	36				・毎回とても楽しみにしています。 ・大好きな場になっています。 ・とても楽しみにしています。保育園の行き渋りはあってもオレンジは一度もありません。 ・ピコ大好きです。きっと心の支えになっていると思います。 ・「今日はピコだよ」と言うと「やった～」と言って喜んでいきます。	・嬉しいお言葉をいただき感謝しております。お子さまが前向きに教室に通いたいと思えるよう、居心地がよく楽しい環境を整えていくとともに、成長が促せる場になるよう支援をさせていただきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	35			1	・子どもに寄り添っていただけて感謝しています。 ・コロナ前と同じとは言えないが、満足の行く支援をしていただいている。 ・大変満足している。その為、就学を機に利用ができなくなるのが不安。 ・信頼できる先生方にいつも感謝しております。おかげさまで成長を強く感じます。 ・いつもありがとうございます。おかげさまでここまで成長することができました。 ・色々親身になって対応してくださるので満足しています。	・嬉しいお言葉をたくさんいただく事ができ、感謝しております。今後も、保護者様とのコミュニケーションを大切に、お子さまの成長と一緒に育んでいきますと幸いです。 また、安心して教室をご卒業していただけるよう、就学に向けての不安などは随時ご相談にのれるよう調整していきたいと思っています。職員一同、良い支援ができるよう日々精進して参ります。

○この「保護者向け児童発達支援評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所による評価

A環境面

- ・ 整頓、清掃、消毒を行い、余計な物のない清潔で心地よい環境を整えている。
- ・ 学習と遊びの場を分ける、視覚表示等を行うなどの構造化をしている。

B児童への支援内容

- ・ 一人ひとりの力や興味にあわせたプリントを作成している。
- ・ 毎週違う一斉活動（工作、SST等）を行い色々な体験ができるよう工夫をしている。

C関係機関との連携

- ・ 療育センター等の研修への参加、相談支援専門員と連携を行った。戸塚区自立支援協議会への参加のためのやりとりを行っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・ ご利用後に対面でのフィードバック、オンラインでの活動報告をしている。
- ・ LINE や電話、面談等で保護者から困りごとの相談をいただいた。

E非常対応

- ・ 年に2回避難訓練を実施している。
- ・ 災害、感染症対策のBCPを作成している。

保護者による評価

A環境面

- ・ スペースが十分にあり、清潔である。
- ・ 余計なものが目に入らぬよう整備している。
- ・ 学習と遊びの場所がわかりやすくなっている。

B児童への支援内容

- ・ 子どもを適切に分析し、保護者の話もよく聞きながら計画に沿った支援をしている。
- ・ 工作などの活動がありがたい。
- ・ 通所を楽しみにしている。
- ・ 幼稚園や保育園との交流はその子によると思う。コロナ渦のご時世と通園していることを踏まえ、なくても良いと思う。

C事業所からの情報発信

- ・ ペアレントトレーニングをしてみたい。
- ・ 定期的な面談がもう少し頻繁にあっても良い。
- ・ 何かあればLINE等ですぐに連絡が取れるようになっている。
- ・ 毎月のおたよりで教室情報を発信している。

D非常対応

- ・ 活動内容が書かれたおたよりの中で説明があったように思う。
- ・ LINEにて説明があった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 学習スペースと遊びスペースがわかりやすくなっている。
- ・ 子どもを適切に分析し、保護者の話もよく聞きながら計画に沿った支援をしている。
- ・ 通所を楽しみと感じているお子さまが多数を占めている。

【相違点】

- ・ ペアレントトレーニングをしてみたいというご意見も多くいただいた。
- ・ 定期的な面談がもう少し頻繁にあっても良いというご意見をいただいた。
- ・ 子どもの状況や近況について双方で伝え合っているのは面談時くらいなので、頻度は少なく感じるというご意見をいただいた。
- ・ 活動内容を聞くだけでなく、こちら（保護者）からも子どもの様子をもっと伝えられたらいいというご意見をいただいた。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・事業所への通所を楽しみと感じているお子さまが多数を占めている。
- ・一人ひとりの力や興味にあわせたプリントを作成している。
- ・毎週違う一斉活動(工作、SST等)を行い色々な体験ができるよう工夫をしている。
- ・子どもを適切に分析し、保護者の話もよく聞きながら計画に沿った支援をしている。
- ・日々の困りごとや振替の相談などがしやすい。(LINEや面談等)

事業所の改善点

- ・定期的な面談(個別支援計画更新時の面談)以外にも、お申し出があれば面談ができることを周知する。
- ・お子さまの様子を教室とご家庭、双方で伝え合う時間の確保方法を検討する。
- ・ペアレントトレーニングについて検討する。

事業所の改善への取り組み

- ・定期的な面談(個別支援計画更新時の面談)以外にも、ご希望があれば面談ができることを周知する頻度を増やす。
- ・希望される日は活動報告をHUGのみで行い、5分間のフィードバックの時間をお子さまの状況を双方で伝え合う時間にしていこう等、ご家庭との情報交換・共有の時間の作り方を検討していく。
- ・ペアレントトレーニング等の開催についてはコロナ禍の状況を見つつ、場所、方法、内容等を検討していく。早急の開催は難しいことが予想されるため、面談等でアドバイスができるよう知識を深めていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

まずはアンケートの回答にご協力くださりありがとうございました。温かいお言葉をたくさんいただく事ができ、大変嬉しい気持ちでいっぱいでございます。今後は「家庭と教室で子どもの日々の様子を情報交換・共有していく機会がもっとあると嬉しい」というご意見を踏まえ、限られた時間の中でいかに共有する場を作っていくかを検討していきたいと思っております。また、これからもお子さま、保護者様に安心して楽しみながらご利用いただき、お子さまの成長にとってより良い支援を提供できる教室となれるよう、日々新しい情報を学びながら精進していきます。

事業所名 オレンジスクールピコ 東戸塚教室

担当者 松本 枝里子